

弥富町議会

3月定例会

3月定例会を2日から17日までの会期で開きました。

町長から、18年度の弥富市予算案や十四山村との合併および市制施行に伴う関連議案をはじめ計92議案が、議員より弥富市議会会議規則の制定など3議案が提出され、原案どおり可決しました。一般質問には6人が登壇しました。

18年度予算

一般会計121億5000万円と国保など6特別会

計を合わせた総額215億5292万円が計上されました。

主な事業は、弥富中学校校舎移転改築事業や大藤児童館建設事業などです。

質疑

質疑(杉浦議員)

(1) 巡回バス運行業務委託料が230万円ほどの増額で十四山地区に対して弥富町並みにバスを走らせることができるのか。
(2) 基本検診料をなぜ有料化するのか。

(3) 生産調整推進対策事業費補助金、生産調整推進対

策事業集団化補助金の対象となる農地面積と、10アール当たりの補助金の額はいくらか。

答弁(横井総務部長)

(1) 北のAコースを右回り2回と左回り2回の十四山地区を含めたコースで巡回し、バス停を十四山地区で13カ所予定しており、十四山地区の要望を聞き入れたコースである。

答弁(北岡民生部長)

(2) 18年度から郡内で統一されたからである。

答弁(服部開発部長)

(3) 生産調整補助金は、10アール当たり3000円で560ヘクタール分、集団化補助金は、10アール当たり7000円で330ヘクタール分を見込んでいる。

質疑(佐藤博議員)

(1) 幹線道路等の供用開始は、いつになるのか。
(2) 地方交付税の算定になる基準財政需要額はどれだけ見積もっているのか。

答弁(服部開発部長)

(1) 供用の見通しは、国の

予算に相まっているため定かではないが、国・県に要望してまいりたい。

答弁(横井総務部長)

(2) 基準財政需要額を合併算定替えて見積もった場合、63億5509万7000円になる。

討論

反対討論(三宮議員)

4月1日から発足する弥富市の財政力から見れば、また、十四山村と弥富町の良いところを生かせば、もっと改善の余地がある。よって反対とする。

賛成討論(木下議員)

充実した市民生活の推進と向上を図るための予算編成であるので賛成する。

採決

賛成起立17人で原案可決
反対2人(三宮・杉浦)

国民保護のための措置に関する法律の施行に伴うものです。

質疑

質疑(杉浦議員)

国民保護協議会、その対策本部として保護計画をつくり、何をするのか。

答弁(横井総務部長)

国民保護協議会は、私たちが避難とか救助・武力攻撃に伴う被害の最小化等を盛り込んだ国民保護計画を策定するための諮問機関である。

討論

反対討論(杉浦議員)

有事の際に町民を安全に避難させるといふ現実的な計画ができるのか非常に疑問であり反対する。

賛成討論(武田議員)

国からの方針に沿ったものであり賛成する。

採決

賛成起立17人で原案可決
反対2人(三宮・杉浦)

国民保護協議会条例、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定

武力攻撃事態等における

弥富町職員の給与に関する条例の一部改正

国家公務員一般職の職員給与に関する法律の一部改正に伴うものです。

質疑

質疑(三宮議員)

弥富町職員の給与はラスパイレース指数が90%を割り込む状態になっている。

職員の処遇が法の下での平等ということが担保される手立てを考えているか。

答弁(川瀬町長)

職能によって少しでも職員に有利に展開するように便宜を図っており、現状においては財政が厳しい状態なので、国の方針に従い改正していきたい。

討論

反対討論(杉浦議員)

職員の給与の現状は国との格差が大きく広がったままであり、本来、国との格差を是正することが必要であるが、今回の改正はそういった配慮を大きく欠くも

のであり反対する。

賛成討論(武田議員)

職員の給与が妥当なものだと判断し賛成する。

採決

賛成起立17人で可決

反対2人

(三宮・杉浦)

出産奨励祝金支給条例の廃止

出産奨励祝金支給条例を廃止するものです。

質疑

質疑(杉浦議員)

この条例は廃止すべきではないのではないか。

答弁(川瀬町長)

病気に掛かりやすい中学生になるまで、医療費を無料に拡充したことにより廃止するものである。

質疑(佐藤博議員)

弥富市の少子化対策として、誇れるような施策として評価できるようなものが考えにあるか。

答弁(川瀬町長)

子育て支援センターも随時充実させ、立派な子育てを十分に支援していきたい。

討論

反対討論(杉浦議員)

この制度は町独自の進んだ制度として本来廃止するどころか、より拡充すべきであるが、これに変わる代替策が講じられないまま廃止することには反対する。

賛成討論(木下議員)

少子高齢化の中で、子育て支援とか児童館整備など充実した施策が実施されており、賛成する。

採決

賛成起立17人で原案可決

反対2人(三宮・杉浦)

介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の改正と十四山村の編入に伴うものです。

質疑

質疑(三宮議員)

保険料を2700円から3500円に値上げする理由はあのか。

答弁(北岡民生部長)

被保険者数、あるいは要介護認定者数、認定率、サービス利用者数等の推計により、サービス目標量や事業量の見込み等を基に適正な料を設定したものである。

討論

反対討論(三宮議員)

今後3年間で給付費が毎年4%伸びたとしたら12%の伸びになるが、保険料が2700円から3500円になれば約29%上がることになる。給付費の伸びに比べて保険料の上げ幅が大きすぎる。

よって反対とする。

賛成討論(木下議員)

保険料については、負担する軽減等についてもきめ細かく配慮し、県内・郡内でも平均以下という説明を受けており、大事な制度だと思い賛成する。

採決

賛成起立17人で原案可決

反対2人(三宮・杉浦)

教育委員

前任者の辞任に伴い、後任者の任命に同意しました。
小出 隆 通 氏

(70歳・蛟ヶ地)



▲子育て支援センターにて